

流山市生活困窮者自立支援事業

ユーネットだより

令和7年度12月号



流山市くらしサポートセンター ユーネット

〒270-0121 千葉県流山市西初石3丁目101-21鈴木ビル1F

TEL 04-7197-5690 Mail : yu-net@lec.co.jp

<https://public.lec-jp.com/seikatukonkyuu-nagareyama/>

受託運営：株式会社東京リーガルマインド



くらしに困っている相談者によりそいながら、自立に向けてお手伝いをするのが、

流山市くらしサポートセンター ユーネット です。

【ごあいさつ】

令和7年8月29日、就労移行支援事業所ニューロリワーク新松戸センター様にて、「休職から復職へ」をテーマに、病気との向き合い方や働き方について、ユーネットの相談員がお話しさせていただきました。今号では、当日の資料から、講演のテーマや参加者の方々のアンケートで質問の多かった項目を抜粋して掲載します。

実例に基づき、疾患や指定難病を抱えながらも、服薬や体調管理を工夫することで、安定して働くことができるをお話しました。講演の中で、皆さんの注目度が高かったテーマの「クローズ就労」「オープン就労」「セミオープン就労」といった働き方の違いについて下記にて説明します。さらに、障がいのある方の就労に関する内容も記載します。

病気や障がいを伝えることは、あきらめではなく「安心して働くための選択」であること。面接での伝え方や応募書類の書き方の工夫、支援機関との連携など、実践的なポイントも紹介しました。

当日は、利用者の皆さんが真剣に耳を傾けてくださり、講演後には多くの質問をいただきました。

特に「セミオープンやクローズ就労で働きたい」という声があり、それぞれの働き方における配慮の伝え方や、困ったときの対応方法についても意見交換しました。

アンケートにも丁寧にご回答いただき、皆さんの前向きな姿勢に私自身も大きな力をもらいました。働き方に正解はありません。そのときの自分に合った形を選びながら、無理なく働ける環境を見つけていくことが大切です。そして、企業を“選ぶ”という視点を忘れずに、自分らしく働ける場所を見つけてほしいと思います。

【働き方のスタイル比較図】

働き方	病気・障がいの開示範囲	メリット	注意点・課題
クローズ	開示なし	周囲に気を遣わずに済む	支援が入りにくく、孤立しやすい
セミオープン	人事・上司のみ	必要な配慮が受けやすい	同僚の誤解や孤立の可能性
オープン	職場全体に開示	支援機関との連携がしやすい	病名だけでは伝わりにくいことも

【1年後の職場定着について】

一般求人（クローズ就労）

1年後の定着率約3割

※障がいを非開示で就業するため、周囲の理解や配慮を得られず、ミスマッチや体調の悪化による離職リスクが高まります。

(つづく)

流山市生活困窮者自立支援事業

(つづき)

セミオープン就労

1年後の定着率約5割

※クローズ就労よりは働きやすく、オープン就労よりは給与水準や働きやすさの面でメリットがあります。

障がい者求人（オープン就労）

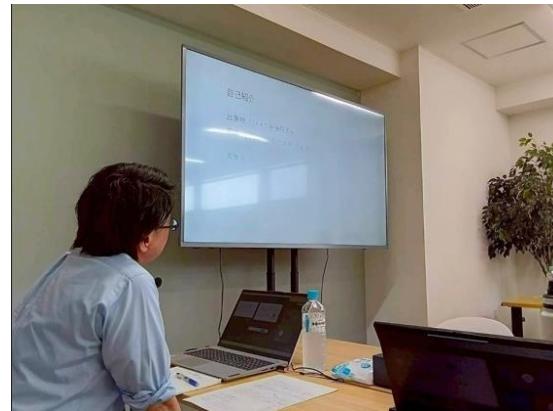
1年後の定着率約7割

※企業が障がいを前提とした雇用を行うため、配慮や支援を受けやすく、職場定着につながります。

《就労に向けての準備》

【情報を集めて選択肢を広げる】

- ・障害者雇用枠だけでなく、一般雇用やセミオープンも視野に入る
→自分に合った働き方を選ぶには、制度の違いを知ることが大切。

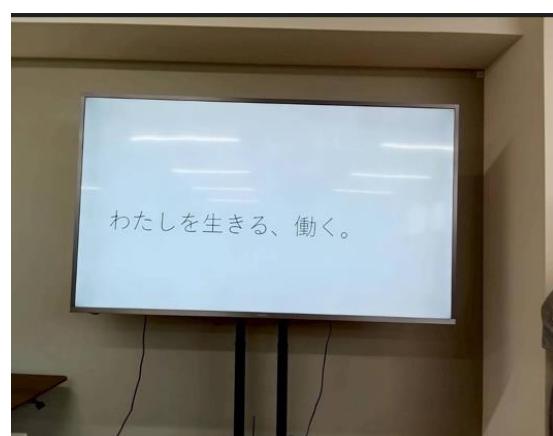


【スキルを磨いて「選ばれる力」を育てる】

- ・PCスキルや資格取得など、武器になるスキルを身につける
→自分の強みを明確にすることで、企業との対等な関係が築けます。
- ・自己PRや面接練習も大切
→自分の価値を伝える力が、「選ぶ側」になるための鍵。

【支援機関や相談窓口を活用する】

- ・ハローワーク、就労移行支援、地域の障害者就労支援センターなど
→情報収集や職場体験、履歴書添削など、プロのサポートが受けられます。



【千葉県民間企業の障害者雇用状況（令和6年）】

- ・実雇用率：2.40%（前年より0.02ポイント増）

※13年連続で上昇中

- ・雇用障害者数：14,844人（前年比+548.5人）

■身体障害者：6,883人 (+1.4%)

■知的障害者：4,017.5人 (+0.5%)

■精神障害者：3,943.5人 (+12.3%)

- ・法定雇用率達成企業の割合：47.3%（前年52.6%から減少）

※令和6年3月に法定雇用率が2.3%→2.5%に引き上げられた影響

- ・企業規模別の傾向

企業規模	実雇用率	備考
1,000人以上の企業	2.59%	法定雇用率を上回る
40～100人未満の企業	2.34%	達成率45.2%とやや低め

- ・産業別の雇用率

産業分類	障害者雇用者数	雇用率	主な職種	傾向
医療・福祉	3,668人	3.2%	清掃・調理補助・事務・環境整備	雇用率が高く、職域が広い
卸売・小売業	2,790人	2.3%	商品管理・レジ補助・品出し・バックヤード作業	接客以外の職域で雇用が進む
学術研究・専門・技術サービス業	1,778人	2.5%	統計処理・文献整理・庶務・荷物の仕分け・伝票処理・車両清掃	雇用率は高め、職域が限定的
サービス業	1,761人	2.2%	清掃・接客・販売補助	雇用率は比較的高め
製造業	1,621人	2.1%	組立・ピッキング・清掃・事務補助	特例子会社が多く、安定雇用
運輸業	1,186人	2.3%	荷物仕分け・伝票の整理	身体障害者中心、法定雇用率順守除外率（対象業種）影響あり
建設業	235人	1.5%	資材管理・事務・清掃	雇用率は低め、現場作業が多く難しい
情報通信業	203人	1.9%	事務補助・軽作業・技術補助	身体障害者中心、テレワークの普及で精神障害者の雇用が進みやすくなっている